



2014年7月 第12巻第7号

・今月の思想

### かく語りき—聖人の言葉

「働きと礼拝は、ヴェールをはぎ取って束縛と迷妄を取り除くのに必要である」  
(スワミー・ヴィヴェーカーナンダ)

「喜びの歌を主に歌い、主の御名を唱え、主の召使となりなさい」  
(グル・ナナク)

### 今月の予定

・生誕日・

スワミー・ニランジャナーナンダ  
8月10日(日)  
シュリー・クリシュナ・ジャンマシュ  
タミ 8月17日(日)  
スワミー・アドヴァイターナンダ  
8月24日(日)

### 今月の目次

- ・かく語りき—聖人の言葉
- ・2014年8月の予定
- ・6月の逗子例会にてゴータマ・ブッダ生誕祝賀会開催
- ・スワミー・ヴィヴェーカーナンダ生誕150周年祝賀記念行事 閉会式  
ラーマクリシュナ・マト・アンド・ミッション事務総長  
スワミー・スヒターナンダによるスピーチ
- ・マハーラージの活動報告
- ・忘れられない物語

・行事・

『ラーマクリシュナの福音』とチャンティングの勉強会(月2回)  
メーダサーナンダ・マハーラージによる新しい勉強会が始まりました。  
毎月第1、第3火曜日  
10:00~11:00  
チャンティングの発音や意味  
11:00~12:00  
ラーマクリシュナの福音解説  
様々なサンスクリット語の発音を学びながら、祈り(チャンティング)の勉強と、ラーマクリシュナの福音を、エ

ピソードも交えながらわかりやすく解説する勉強会です。どなたでも参加できますが、事前に連絡が必要です。

次回は 8 月 26 日 (火) です。今回は特別に第 4 週となっていますのでご注意ください。

場所：協会本館 無料

申込み&お問い合わせ：シャンティ [shanti.k-4649@ezweb.ne.jp](mailto:shanti.k-4649@ezweb.ne.jp)

※参加される方は、席のご用意と資料の準備がありますので、必ず 2 日前までにご連絡をお願いします。(昼食の有無もお知らせください)

8 月 2 日 (土) 14:00~16:00

東京・インド大使館例会

講義：バガヴァッド・ギーター (無料)

場所：インド大使館 : 03-3262-2391

お問い合わせ：逗子協会 046-873-0428

8 月 3 日 (日)、17 日 (日)、24 日 (日)、31 日 (日) 14:00~15:30

ハタ・ヨーガ・クラス

場所：新館アネックス

\*体験レッスンもできます。

お問い合わせ：逗子協会 046-873-0428

8 月 7 日 (木) ~11 日 (月)

スワミーマニラ訪問につき不在

8 月 16 日 (土) 17:00~

シヴァーナダ・ヨーガ東京センター  
講話

詳細：<http://www.sivananda.jp/>

8 月 17 日 (日) 10:30~16:30

逗子例会 クリシュナ生誕祭

場所：本館

朗誦・輪読・講話・賛歌など

8 月 22 日 (金)

8 月のホームレス・ナーラーヤナへの奉仕活動はお休みです。

現地でのお食事配布など。

お問い合わせ：佐藤 090-6544-9304

8 月 24 日 (日) 14:00~16:00

パドマ・ヨーガ・アシュラム主催のサットサンガ

天風会館 (東京都文京区)

\*詳細はパドマ・ヨーガ HP をご覧ください。

<http://www.padma-yoga.jp/kenshukai/index.html>

8 月 30 日 (土) ~31 日

<サットサンガ in 今治>

お問い合わせ：塩路 090-9542-1477

## 2014 年 6 月の逗子例会

### ゴータマ・ブッダ生誕祝賀会開催

6 月 15 日 (日)、日本ヴェーダーンタ協会は 6 月の逗子例会でゴータマ・ブッダの生誕祝賀会を執り行いました。ヴィシュダ・シッダーンタ暦 (Vishuddha Siddhanta Almanac) によると、今年のブッダの正式な生誕日は 5 月 14 日でしたが、協会では 6 月の例会

で生誕祝賀会を行うことにし、2名の日本人ゲストをお招きして講話をいただきました。一人は、協会の重要な例会・イベントにいつもご参加くださる、協会の友人である日蓮宗僧侶の鈴木法拳上人、もう一人は、ラーマクリシュナ・ミッションのシンガポール支部でサーラダー幼稚園 (Sarada Kindergarten) の園長先生を務められているスワミー・サッティヤーロカーナンダジー (Swami Satyalokanandaji) でした。お二人は、ご自身のご活動を含めて興味深いお話をしてくださいました。

祝賀会の準備のために逗子本部本館と近くのホーリー・マザー・ハウスに前泊された数名のボランティアは、当日早朝から礼拝室で瞑想とジャパに参加されました。午前6時、マハーラージとサッティヤーロカーナンダジーの先導で朝拝が行われ、皆で聖句詠唱、聖典の輪読、賛歌朗唱を行いました。その後朝食を取り、ボランティアの方々は別館 (アネックス) で行われる祝賀会の準備に取り掛かられました。

#### 午前のプログラム

アネックスにはブッダを礼拝するための特別な祭壇が設置され、花や供物などが美しく飾られました。マハーラージはベルを鳴らして午前のプログラムを開始し、初めに参加者全員と共に10分間瞑想しました。続いてマハー

ラージは挨拶の言葉を述べ、皆を先導してヴェーダの平和のマントラと仏教聖典を朗唱しました。参加者は、配布された協会の賛歌集を見ながら斉唱しました。



次にマハーラージは、鈴木法拳上人を前にお呼びし仏教経典朗唱の先導をお願いしました。法拳上人は、団扇太鼓を叩きながら張りのある声で、参加者と一緒に読経しました。そして、皆で仏典を輪読しました。

続いて、協会書記の三田村賢一さんから、『ラーマクリシュナの福音』の勉強会 (毎月第1・第3火曜日午前) の案内と、逗子例会のプログラムに新たに取り入れられたカルマ・ヨーガのスケジュールについての説明がありました。そして三田村さんは、最初に講話をいただく法拳上人の略歴を紹介されました。

マハーラージに名前を呼ばれると法

拳上人は前に出られ、「ブッダの教えの  
実践」をテーマに講話をされました。  
初めに「南無妙法蓮華経」を3回唱え  
られると、少し緊張されており、また、  
ヒマラヤ訪問を含むインドの旅から前  
日戻られたばかりであるとおっしゃい  
ました。そして、ご自身の体験を交え  
ながら、仏教の教えを実践することの  
大切さや、宗教・宗派に関わらず強い  
信仰心を持つことの素晴らしさについ  
てお話しになりました。

講話が終わるとマハーラージは法拳  
上人にお礼を言い、次のゲスト・スピ  
ーカーであるスワミー・サッティヤ  
ーロカーナンダジーを紹介しました。  
「サッティヤーロカーナンダジーはラ  
ーマクリシュナ僧団のお坊さんです。  
僧団には様々な国出身の僧侶がおり、  
日本人のお坊さんは二人いますが、サ  
ッティヤーロカーナンダジーはその一  
人です」サッティヤーロカーナンダジ  
ーは1976年に僧団に入団され、マハー  
ラージと同じく、ホーリー・マザーの  
直弟子であるスワミー・ヴィレシュ  
ワラーナンダジーからイニシエーショ  
ンを受けられました。1998年にシンガ  
ポール支部に派遣され、ラーマクリシ  
ュナ・ミッションのサーラダー幼稚園  
の運営にあたられています。この幼稚  
園は近年、シンガポールが優れた幼稚  
園に与える賞を受賞しました。サッテ  
ィヤーロカーナンダジーは、日本で行  
われたヴィヴェーカーナンダ生誕 100

周年祝賀記念行事の珍しい写真を収集  
されており、協会では今年6月の生誕  
150周年祝賀記念行事閉会式のために  
発行した雑誌『不滅の言葉 特別号』  
にその写真を掲載させていただきました。  
また、2011年の東日本大震災の発  
生後、サッティヤーロカーナンダジ  
ーは募金活動や被災地の幼稚園との交流  
などを積極的に行われ、その活動には  
感謝の声が寄せられています。

講話の前にその場でプロジェクター  
とスクリーンが準備され、サッティヤ  
ーロカーナンダジーは立ち上がって講  
話を始められました。日本におけるヴ  
ェーダーンタ運動に縁のある人々や場  
所についての説明、スワミー・ヴィ  
ヴェーカーナンダがブッダを敬愛して  
いたこと、二人の教えの共通点など  
について映像を交えながらお話しにな  
りました。



サッティヤーロカーナンダジーが講  
話を終えられるとマハーラージはお礼  
を言い、皆に、これから皆で本館に移  
動して昼食のプラサードを取ることを

説明しました。また、午後 3 時に午後のプログラムが始まるので、その前にアネックスに戻るようお願いしました。

## 午後のプログラム

午後 3 時、マハーラージの先導で、平和と理解を求める師と弟子が互いに尊敬し努力しあうことを願う祈りの言葉「オーム・サハナ・ヴァヴァトウ」を皆で詠唱しました。次に、インド人信者のミタ・チャンダさんがもう一人の信者の方と共にクリシュナの賛歌（バジャン）をアカペラで歌われました。この賛歌は、「主クリシュナはお眠りにならないけれど、母ヤショーダーのような態度を取ればお眠りになる。主は食べ物を召し上がらないけれど、ヤショーダーにお願いされれば召し上がる」という内容だそうです。続いてミタさんは、ラーマの賛歌を歌われました。これは「ラーマの名は真実である」ことを宣言する歌で、「あなたは万物です、あなたはすべての人です。あなたは私たちの父であり母であり、私たち自身です。あなたは朝で、夕方です。すべてがあなたです」という意味の歌詞です。ミタさんの歌うのを聴きながら参加者も即興で歌詞をくり返し、皆でバジャンを歌いました。

続いて、サッティヤーロカーナンダジーが「識別」をテーマに講話を始められました。最初に、電子キーボードを

弾きながら「ヴィヴェーカ（viveka、識別の意）」の理想を謳った 2 つの詩を詠唱されました。そして、悟りを得るのに識別が特に重要であることについて日本語で話され、日本語が母国語でない参加者のために講話の一部を佐々木陽子さんとマハーラージが英語に訳しました。

講話が終わると、皆で少しの時間瞑想をし、その後お茶をいただいて、一日のプログラムが終了しました。

## スワミー・ヴィヴェーカーナンダ 生誕 150 周年祝賀記念行事 閉会式 2014 年 5 月 25 日 清泉女子大学講堂 スワミー・スヒターナンダ ラーマクリシュナ・マト・アンド・ ミッション事務総長

親愛なるみなさん、

私は 2014 年 3 月 3 日、インドのムンバイにある病院で腰椎骨折の顕微鏡手術を受けなければなりませんでした。療養中のことです。岡倉覚三によって書かれた『Ideals of the East: The Spirit of Japanese Art（東洋の理想：日本芸術の精神）』という本を読む機会を得ました。「アジアは一つ」という大変インパクトのある文からその本は始まります。少し読み進むと、こう書いてあります。「日本とはアジア文明の博物館となっている。いや博物館以上のものである。なんとなればこの民族のふしぎな天性は、この民族をして、古

いものを失うことなしに新しいものを歓迎する生ける不二元論(アドヴァイティズム)の精神をもって、過去の諸思想のすべての面に意を留めさせているからである。神道家はいまなおその仏教以前の先祖崇拜の儀式を固守している。そして仏家自身もまた、自然の順序のままに順次この国土を豊かならしめるものとなった、宗教的発展のさまざまな宗派のおのおのに固執しているのである。」

岡倉は続けます。「歴史の黎明は、かれら大和民族を、戦いに臨んで精悍、平和の諸芸においては温雅、太陽の子孫の伝説とインドの神話にはぐくまれ、詩歌を愛し、女性に対する大いなる尊敬の念をいただく一個の緊密に団結した民族としてあらわし見せている。」(『東洋の思想』岡倉天心 講談社 昭和 61 年発行より引用)

日本ヴェーダーンタ協会は『ラマクリシュナ僧団の三位一体と理想と活動』という拙著を 2001 年に出版していますが、その中でラマクリシュナ・マトとミッションの理想と活動を説明しています。理想は抽象的ですが、小見出しに示されたような活動を通じて実践に移されています。救援活動、医療サービス、女性と青年のための活動、社会的弱者への支援、霊的文化的な活動、海外のセンターなどの活動です。

スワミー・ヴィヴェーカーナンダは、1893 年に日本を訪問しましたが、顔があまりにお釈迦様に似ていると驚かれました。彼は日本人の愛国心、勤勉、団結力、清潔、美的感覚という特性に大きな感銘を受けました。

1902 年に、カルカッタの日本領事、岡倉、スワミー・ヴィヴェーカーナンダの友人であるジョセフィン・マクラウドが、普遍の宗教を普及させるべく彼を日本に招待しようと試みましたが、スワミーの健康が衰えていたために実現されませんでした。

しかしその後 1903 年以降、シュリー・ラーマクリシュナの二人の直弟子スワミー・トリグナティターナンダとスワミー・アベダーナンダが来日され、ラビンドラナート・タゴール、ラース・ビハーリー・ボース、スバーシュ・チャンドラ・ボースも来日されています。さらに、スワミー・ブラフマーナンダの弟子でラマクリシュナ僧団の 7 代目の長スワミー・シャンカラナンダや、スワミー・ヴィヴェーカーナンダの弟子スワミー・サダーナンダも来日しています。1931 年には、ロマン・ロランによるスワミーの伝記が日本語に翻訳されました。

スワミー・ランガナーターナンダの励ましと、木村日紀教授、V. S. ラ

オ氏の主導により、1958年に日本ヴェーダーンタ協会が設立されました。スワミー・メーダーサーナンダの指導のもとで積極的な活動を行っているこの協会が主催する行事で、本日こうしてお話しできることは幸いです。

**スワミー・ヴィヴェーカーナンダは生誕 150 周年を過ぎた今の世にふさわしいのでしょうか？**

スワミー・ヴィヴェーカーナンダがこの世を去り 111 年以上にもなりますが、彼の人生やメッセージは今日でも大きな意味を持っています。この事実について著名な歴史家でインド学者の A.L. バッシュムはこう書いています。「時が経ち、彼の没後に起きた途方もない想定外の出来事が示すのは、彼（ヴィヴェーカーナンダ）は何百年にも渡り、現代世界の主要な規範の形成者として記憶されるだろうという事である。」

1906 年のマクラウド嬢宛ての手紙でシスター・ニヴェディターはこう書いています。「私たちのようなスワミーの理解者やスワミーを知る者がこの世を去った後、スワミーの為した仕事が語られない暗い沈黙が長い間訪れるでしょう。あたかもスワミーが忘れ去られたかのようになり、そして 150 年後か 200 年後、突然スワミーの教えが世界を変えたと理解されるので

す。」

今日、私たちは国際的な文明社会に暮らしています。情報とコミュニケーション技術の進歩、経済のグローバル化を始めとする要素により、世界の人々はかつてないほど緊密に繋がっています。世界中で今、人権や社会的公正、男女平等などについての認識が高まり、宗教の調和の重要性と原理主義的信仰の危険性が理解されつつあります。もう一つ大きな傾向として、精神的・霊的生活への興味の高まりが、世界中で、特に若者たちの間でみられます。精神的・霊的アプローチは、人生の問題に直面した時や、成功を収めるために、有意義な人生を送るために非常に役に立つという認識が高まりつつあります。世界中で、知的な人々が教会や寺院、モスクに束縛されない宗教を模索しています。印刷物や電子メディアを通じて、この傾向は世界的な精神運動となり、教育、健康、医薬、経済や政治にまで及び、何百万という人々が今や瞑想、ヨーガ、禅などの霊的訓練を実践しています。

早くも 1897 年に、スワミー・ヴィヴェーカーナンダはこう述べています。「政治や社会学においてさえ、20 年前には単に国内の問題であったことが、今や国内レベルだけでは解決できなくなっている。もっと幅広い、国際的な視野をもって取り組んで初めて解決で

きるのだ。国際的機関、国際的な協力、国際法が今、切望されている。」

最近ユネスコは、スワームージーの生誕 150 周年に関する記念行事を行いました。イリーナ・ボコヴァ・ユネスコ事務局長は式典の講演で次のように述べました。「今日考えるテーマとして、スワームー・ヴィヴェーカーナンダの普遍的なメッセージ以上に何があるでしょうか？今（世界は）、社会の相互の繋がりが進んでいますが、分裂も進んでいます。」

忘れてならないのは、スワームージーは芯からの愛国者でしたが、母国への愛があると同時に自身を全人類の一員であると考えていたことです。クリストファー・イシャーウッドは、「ヴィヴェーカーナンダの愛国心は、狭義のそれではなく、超越した愛国心とでも言うような、国際主義に昇華した愛国心である。」と述べています。

### スワームー・ヴィヴェーカーナンダのさまざまな分野での貢献

**調和:** スワームージーのメッセージの基調は調和です。古代と近代の調和、東洋と西洋の調和、諸宗教の調和、宗教と科学の調和をもたらそうとしたのです。

**人間社会への懸念:** スワームージーは、

啓示を受けた先見者で、人類のはるか未来を見据えていました。人類の幸福を深く憂慮され、ラーマクリシュナ・ミッションを設立してこの組織に偉大なビジョンを与えたのです。1993 年、この事実を当時のユネスコ事務局長フェデリコ・メイヤー氏が公認しています。スワームー・ヴィヴェーカーナンダの宗教会議出席 100 周年を記念するユネスコの特別展示会の開会式において、メイヤー氏は、1897 年に策定されたラーマクリシュナ・ミッションの規約と、そのおよそ 50 年後に策定されたユネスコ憲章の類似性に感銘を受けた、と語っています。

**宗教:** 人類の次に彼が懸念することは宗教です。宗教への寛大な姿勢が彼の言葉から窺（うかが）えます。「私はイスラム教のモスクに行きましょう。キリスト教の教会に入り十字架の前で跪（ひざまず）きましょう。仏教寺院で仏陀と仏法に帰依します。森に入ってヒンドゥ教徒と座り、万人のハートを照らす光を見出すために瞑想します。これらすべてを行うだけではなく、この先遭遇する全ての宗教に対して私は心を開いています。」

**奉仕:** スワームーの地球規模的視野について、ロンドン市長ボリス・ジョンソンは「彼の奉仕への献身、特に最貧層や弱者に対する奉仕への献身は、無私無欲である時に人は最良の自分にな



れる事を思い起こさせてくれる。」と記述しています。

**平和:** 世界平和を脅かす原因は内的外的の両方があります。我々が知り得る限り、ヴィヴェーカーナンダが師シュリー・ラーマクリシュナから学び、絶えず西洋で説いた諸宗教の調和のメッセージが、宗教間の不調和の問題を解決する唯一の策なのです。この見解を裏付けるものとして、高名な英国の歴史家アーノルド・トインビーの言葉を引用するのが最善でしょう。40年以上も前に、トインビーはこう記しています。「人類史上最も危険な時を迎えている現在、人類を救うことができる唯一の方法はインド的手法である。アショカ王やマハートマ・ガンディーの非暴力の原理、シュリー・ラーマクリシュナの諸宗教の調和の宣言のように、私たちは人類が一つの家族と成り得る姿勢と精神を持ち合わせているのだ。」

ここで、ヴィヴェーカーナンダが世界の思想家らに与えた影響に注目してみましょう。

**アニー・バーダック**は2012年3月29日、米国でニューヨークタイムズよりも発行数の多い日刊紙ウォールストリートジャーナルに次のように書いています。「J.D. サリンジャー、レフ・トルストイ、ニコラ・テスラ、サラ・バーンハートの共通点は何か。世界的なヨ

ーガ運動の巧みな伝道師スワージー・ヴィヴェーカーナンダの影響を受けた事である。」

**ニコラ・テスラ**は、ヴィヴェーカーナンダからヴェーダーンタのプラーナ、アーカーシャ、カルパについて聞き、魅了され、それらを現代科学が考慮する唯一の理論と位置づけています。

**レフ・トルストイ**はヴィヴェーカーナンダの『ラージャ・ヨーガ』の読後に「昨日はヴィヴェーカーナンダを一日中読んだ。」「この時代にこれ以上の無私で霊的な瞑想ができる人物がいるとは信じられない。」と語りました。

**ウィリアム・ジェームズ教授**は、スワージーについてこう語っています。「本当に感嘆に値する説得力を持つ方である。スワージーは人類の誇りだ。」

**ロックフェラー** スワージーは、シカゴでジョン・D・ロックフェラーに会った際、彼に多大な影響を与えました。「蓄積した富は、世界に善を為すために神があなたに与えた手段にすぎない。」と言ったのです。ロックフェラーがスワージーに行った最初の巨額の寄付は、不本意ながらのものでしたが、後にロックフェラー財団を設立し、何十億ドルものお金が公共の福祉に役立てられています。

**マックス・ミュラー** スワーム  
ーギーは1896年、ミュラー教授の家  
を訪ねました。会合の後、大雨と嵐に  
も関わらず教授は駅までスワーム  
ーギーを見送りに行きました。「悪天候なの  
になぜわざわざこのようにされるので  
すか。」とスワームーギーが尋ねると、  
教授は「シュリー・ラーマクリシュナ  
の最高の門弟様に会える幸運はそう何  
度もありませんから。」と答えました。

**ジャムシェドジー・タタ** スワーム  
ーギーは1893年、横浜からカナダへの  
航海中にタタと出会い、彼を祝福して  
こう語りました。「西洋の進んだ科学や  
技術と インドの禁欲主義、人間主義  
が融合したらどんなに素晴らしい事し  
ょう。」タタはその後、今日世界的に有  
名になった科学研究所をインドに設立  
しました。

これらの人々は皆、スワームーギーと  
個人的に面識がありました。では、彼  
が後生の偉人らにどのように受けとめ  
られていたのかをみていきましょう。

**スカルノ博士** 初代インドネシア大  
統領スカルノ博士は『ヴィヴェーカー  
ナンダの声』という本の序文にこう記  
述しています。「スワームーギー・ヴィヴェ  
ーカーナンダ！なんというお方だ！多  
大な閃（ひらめ）きを私の人生に与え  
てくれた。強くなり、神の僕（しもべ）  
となり、祖国、貧者、人類に奉仕する

閃きを。彼はこう語った。『我々は十分  
に涙を流した。泣くのをやめ自分達の  
足で立ち、人となれ！』と。」

**ウー・タント** 元国連事務総長  
（1962-1971）は、「スワームー・ヴィ  
ヴェーカーナンダはインドの最も偉大  
な霊性の大使です。言わせていただき  
ますとインド史上、アジア史上最高の  
大使でしょう。」と述べました。

**スパーシュ・チャンドラ・ボース** 「ヴ  
ィヴェーカーナンダを知ったのは15歳  
になったばかりの頃でした。以来心の  
大改革が起きました。言うまでもなく、  
生きている限り私は絶対にラーマクリ  
シュナ、ヴィヴェーカーナンダに忠実  
であり、彼らを信仰します。」

**バラク・オバマ** 米国大統領は2010年  
11月8日インド国会で次のように演説  
しました。「私の故郷シカゴに1世紀以  
上も前に来訪された、かの有名なスワ  
ームー・ヴィヴェーカーナンダが称え  
ている、信仰の豊かさです。スワーム  
ーは、『神聖さ、純粹さ、慈愛は世界の  
いかなる教会も独占すべきものではな  
い。すべての制度体系が、高貴な人格  
をもつ男女を生み出してきた』と述べ  
ています。」

**安倍晋三** 日本国内閣総理大臣は、  
2007年8月22日、インド国会で次のよ  
うに演説しました。「『二つの流れは、

別々の水源からやってきてひとつの海で混ざり合う。』インドが生んだ偉大な宗教指導者、スワミー・ヴィヴェーカーナンダの言葉をもって本日のスピーチを始めることができますのは、私にとってこのうえない喜びであります。……ヴィヴェーカーナンダは、岡倉天心なる人物——この人は近代日本の先覚にして、一種のルネサンス人です——が、知己を結んだ人でありました。岡倉は彼に導かれ、その忠実な弟子で有名な女性社会改革家、シスター・ニヴェディターとも親交を持ったことが知られています。……いま一度、1893年シカゴでヴィヴェーカーナンダが述べた意味深い言葉から、結びの部分を引きのお許しください。彼はこう言っています。『争わずに手を差し伸べなさい。破壊ではなく融合を。紛争ではなく、調和と平和を。』

あるロシアの詩人がスワミー・ヴィヴェーカーナンダについて詩を作りました。

「彼のことを正しく表現したら、こうだ。

彼は抜き身の刀のようだ。

彼の思いはまるで鉄の刃のように響き渡る。

ぴかぴか、きらきら、ぱちぱち

鳴り響く、そしてまた鳴り響く！」

## マハーラージの活動報告

東京例会：6月7日（土）、マハーラージは東京・インド大使館で午後2時から『バガヴァッド・ギーター』についての講義を行い、「カルマのコンセプト」をテーマにお話ししました。カルマの概念を正しく理解することの難しさを具体的な例を挙げて説明したほか、マックス・ミュラーの唱えた「単一神教 (henotheism)」の概念に触れて至高神とそれ以外の神々の関係を論じたり、本来のカーストの考え方と世俗的願望が人それぞれである理由を解説したりするなど、非常に内容の濃い講義となりました。参加者は約35名でした。

ヨーガ・ニケタン関西で講話：6月8日（日）、日本ヨーガ・ニケタン関西支部（兵庫県西宮市）にて開催された認定ヨーガ療法士会大阪の定期総会に招待され、マハーラージは「ヴェーダーンタとヨーガ」をテーマに講話を行いました。当日はスタッフを含め110名程が参加しました。

シヴァナンダ・ヨーガ・ヴェーダーンタ・センターで講話：6月14日（土）、国際シヴァナンダ・ヨーガ・ヴェーダーンタ・センターの東京センターで、マハーラージは『バガヴァッド・ギーター』について講話を行いました。

飯塚講話：6月21日（土）、マハーラージは、福岡県飯塚市の立岩公民館にてヨーガ講師の小林さんが主催された

サットサンガで講話を行いました。

福岡講話：6月22日（日）、マハーラー  
ージは、福岡市のココロヨーガスペー  
スで開催されたサットサンガで講話を  
行いました。主催はヨーガ講師の宮木  
サリさんでした。

三鷹・沙羅舎で講話：6月28日（土）、  
マハーラーージは東京・三鷹市の沙羅舎  
で「瞑想ってなに？」をテーマに講話  
を行いました。瞑想とは何かに始まり、  
瞑想がなぜ大切か、瞑想のための心構  
え、どのように何分ぐらい瞑想すれば  
よいのか、注意事項などを具体的にお  
話ししました。講話の後、20名ほどの  
参加者に対し誘導瞑想も行いました。  
参加者の中には、中学生や初めて瞑想  
する方もいらっしゃいました。

## 忘れられない物語

### 穢れ（けがれ）のない家住者

「家住者（Grihastha）の男は家庭に  
とどまってもよいが家庭のことに関わ  
りを持ってはいけない、そうすれば世  
俗に穢されずにいられる」という主張  
に対して、シュリー・ラーマクリシュ  
ナは次のような例を挙げて反論された。

貧しい祭司（Brāhmana）が施しを求め  
て、家庭のことに関わりを持たない家  
住者のところにやって来た。祭司が金

を求めると、家住者は答えた。「私は金  
に触れたことはありません。私に施し  
を求めて時間を無駄にするのはおやめ  
になった方がよろしいです」

しかし祭司は去ろうとせず、しつこく  
せがみ続けたので、家住者は1ルピー  
を恵んでやろうと考え、こう言った。  
「祭司様、明日お越してください。何と  
かいたしましょう」

家住者は家に帰ると、家住者なら誰も  
がやるように妻に尋ねた。家住者は家  
庭のことに関わっていなかったため、  
一切を仕切っていたのは妻だった。「ね  
えお前、貧しい祭司が大変困っていて、  
施しを求めてきたよ。1ルピーやること  
にしたんだが、どうだろう」

「なんとまあ寛大なこと」妻は、1ル  
ピーと聞くとひどく興奮した様子で答  
えた。「ルピーは木の葉や石とは違うん  
ですよ。考えもなしに捨てるものでは  
ありません」

「でも、お前、祭司はとても貧しいよ  
うだし、少なくとも1ルピーはあげる  
べきだろう」家住者は申し訳なさそう  
な声で言った。

「とんでもない。そんなにあげる余裕  
はありません。2アナの小銭を差し上げ  
ますから、これをあげてください」

家住者は世俗のことには疎いためどうすることもできず、妻が差し出した小銭を受け取った。翌日、家住者のところに戻ってきた祭司は、2 アナの小銭しかもらえなかった。

穢れのない家住者というのは妻の尻に敷かれて、言われた通りにするだけだ。人間の悪い見本でしかない。

(『Ramakrishna; His Life and Sayings』 F. Max Müller 著、1898 年)

## 今月の思想

「何事にも気を配ることは、存在そのものであり日々の霊的实践である。

瞑想の一つの形である」

(David Richo)

**発行：日本ヴェーダータ協会**

249-0001 神奈川県逗子市久木 4-18-1

Tel: 046-873-0428

Fax: 046-873-0592

Website: <http://www.vedanta.jp>

Email: [info@vedanta.jp](mailto:info@vedanta.jp)